

動物用医薬品副作用症例報告 (平成17年12月分)

薬事法第77条4の2に基づく動物用医薬品副作用症例報告を次のとおり掲載する。

医薬品の名称 (製造(輸入)業者名)	副作用発現動物						副作用等発現の概要及び転帰							
	種類	性	年齢等	投与前の健康状態・疾患等	関連医薬品の投与歴等	既往歴	副作用歴	投与量・投与方法	投与年月日	併用薬	副作用発現年月日(投与後時間)	副作用等の種類	講じた処置	転帰
インタードッグ (イヌインターフェロン-γ (組換え型)) 東レ(株) 製造番号：DL01	犬 柴犬	雄	9歳	不健康 皮膚疾患が複雑に絡み合った難治性のアトピー性皮膚炎	抗ヒスタミン剤, ステロイド剤, 十味敗毒湯	アレルギー性皮膚炎, ステロイド性肝障害, クッシング病, 甲状腺機能低下症, 副腎皮質機能低下症	ユベラ(ビタミンE)に対する嘔吐, 下痢	1万単位/kg皮下注射	平成17年12月6日 ～ 12月14日	なし	平成17年12月12日	起立不能 インタードッグ投与約4時間後ぐったりして起立不能。飼い主の呼びかけに対しかろうじて首を上げる程度。食欲不振, 元気消失。その他一般状態は良好。	無処置	回復 2日後再投与し同様の症状がみられたが翌日には状態改善。
<p>《企業の意見及び対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当獣医師：過去にステロイド剤の投与もあったが2～3年前であり今回の症状とは無関係と思われる。 ・企業：2回同様の症状がみられたことから因果関係が疑われる。 ・対応：すでに添付文書にて、食欲減退及び元気減退について注意を喚起しているが、本件もあわせてさらに注意を呼びかける。 														

家畜衛生週報 (No. 2919) より